

前回の第3回審議会では、水道料金の改定幅についてご審議をいただいたところでございます。

事務局から、国及び日本水道協会の改定要領等を参考に、改定幅について3つのパターンをお示して、ご審議いただいたところでございます。

具体的に、1つには、月額で平均1,533円、レギュラーガソリンで言いますと9リットル程度の改定幅のもの。

それから2つ目には、同じく平均で926円。これはお店によって違うかもしれませんがチャーシューラーメン1杯に相当する値上げ幅のもの。

それから3つ目には、平均で623円。これもお店によって違いますがショートケーキ1個、或いはタバコ1箱分に相当する改定幅のもの。

この3つのパターンをご提示し、ご議論をいただいたところであり、このうちパターン2を押すご意見がある一方で、大方のご意見としては概ねパターン3の方向であったと、社会長からはお伺いしているところでございます。

そこで今日の審議会では、特に下水道使用料について、前回の水道料金と同様にご審議をいただくこととしております。

下水道使用料につきましては、これまでも申し上げたことがあったかもしれませんが、平成17年4月の市町村合併の時点では、合併前の旧7つの市町村の下水道使用料の体系をそのまま引き継いだわけでございます。逆に言えば、合併時には調整がつかなかったということで、一国二制度でスタートしたわけでありませう。

一方で水道料金は、合併の協議の中で7市町村の中で最も安かった旧富山市の料金体系に統一しスタートしているわけでございます。

この辺りの経緯につきましては、令和4年度に富山市市町村合併検証委員会というものを設置いたしまして、今回の審議会の会長である社会長にその委員長をお務めいただいたほか、審議会の委員の皆様方の中にも、当時の合併検証委員会の委員をお務めいただいた方もいらっしゃいます。

この7市町村の合併による効果として、水道料金が一番低い料金に統一され高いサービス水準が維持されることになったこと、下水道につきましては、特に旧町村部では下水道の整備が遅れておりましたが、これが全市的な観点から整備が進んだということ、これらがこの市町村合併の大きな成果の1つであると、検証委員会の提言の中でお示しをいただいたところでございます。

そうした中でこの下水道については、合併時は7市町村それぞれの会計を引き継ぎましたが、3年後の平成20年4月に下水道使用料についても一番低かった旧富山市の使用料体系に統一した上で、平均で2.8%の改定を行ったわけでございます。

それ以降は、消費税率が5%から8%、8%から10%の2度にわたって改定がございましたがその改定分を除き、実質的な使用料については、据え置きということで16年以上を経過したわけでございます。

ちなみに、合併前の旧富山市の下水道使用料の改定状況を調べてみますと、平

	<p>成2年4月には平均で28.2%の改定を行っております。そしてその3年後の平成5年4月に平均で39.7%、さらに3年後の平成8年4月に平均で36.2%、その4年後の平成12年4月に平均で15.2%、さらにその4年後の平成16年4月、これは合併1年前でございますが、平均で27.4%ということで、3年或いは4年サイクルで使用料の改定を繰り返してきたという経緯がございます。</p> <p>一方で近年は、本市の公共下水道の経費回収率は100%の水準を下回る、すなわち、汚水処理に要する経費を使用料収入だけで賄うことができない経営状態で、実質赤字状態が続いております。</p> <p>また、耐用年数とされる50年を経過した老朽下水道管は、本市の下水道管全体の7.2%あり、そのほか劣化の進行が早まるとされる布設から30年以上経過した下水道管は全体の4割強を占めており、先月発生し、今もなお収束が見通せない埼玉県八潮市の大規模な道路陥没事故などを鑑みますと、本市におきましても、老朽管の更新を着実に進めていくとともに、日々の点検をしっかりと行い、ことが起きてからの事後補修ではなく、予防保全の考えに基づく事前の改修にも、力を入れていくことが求められていると考えているところでございます。</p> <p>本市の下水道事業を取り巻く環境は、経営基盤の強化が必要であることに加え、技術職員の慢性的な不足など、様々な課題に直面しているわけでございますが、水道事業と同様に、市民の快適な生活環境を将来にわたり適正に維持するという、ライフライン事業者としての責務を果たすことに努めてまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>今回も、現下の様々な状況を踏まえ、大変悩ましい事柄について委員の皆様にご審議いただくわけでありませうけれども、将来を見据えた大事な事柄でありますので、何卒慎重審議をお願い申し上げ、冒頭のご挨拶にかえさせていただきます。</p> <p>本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>管理者は、ここで退席させていただきます。</p> <p>《上下水道事業管理者退席》</p>
事務局	<p>それではこれより議事に移ります。</p> <p>ここからの議事進行については、会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>これより議事を進めます。</p> <p>冒頭の挨拶の中にもありましたが、当審議会は去年の8月に上水道事業における適正な使用料等の設定について諮問いただきまして、前回は水道料金について議論しました。</p> <p>本日は主に下水道の使用料、これについて皆さんと議論したいと思います。</p>

経営企画課長	<p>それでは、最初に、事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p>《事務局から「第4回富山市上下水道事業経営審議会資料」を説明》</p>
会長	<p>それでは前回同様に皆様の方からそれぞれ個別にご意見とご質問をうかがっていききたいと思います。</p> <p>本日は最初に、A委員いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>なかなか難しいなと思って資料を読ませていただきました。</p> <p>私が一貫して言っているのは、どうしてもこういうことになると、いわゆる経営者目線になってしまうので、市民の皆様からは少しわかりにくいだろうということです。</p> <p>今回の（審議事項の）ことを総じて言うと、いわゆる4年間の更新、耐震化計画を踏まえて、そうした計画に基づいて経営すると、いわゆるPL、収支が痛む、或いはBS、貸借対照表が痛むということで、これを改善していかないと、さらにその先の将来の投資等ができないということなんだろうと思います。</p> <p>この説明は、企業側、経営者側の説明であって、お客様から見るとなかなか理解し難いかと思っています。特に下水道の場合はあまり収支というか、営業表ベースではこの4年間だとあまり痛まないわけで、いわゆる内部留保資金に焦点をあてて値上げすると3パターンできるということです。低いものであってもかなりのリスクがあると思います。この辺の説明をどうしていくかというところを、考えて行かなければいけないと思っています。</p> <p>水道の場合は、いわゆる営業ベースの表になっていて、内部留保資金の場合はそれほど大きなウエイトになっていなかったもので、そういうものなのかなと見てましたけれども、今回の場合は少しパターンが違うのかなと思って回答させていただきました。以上です。</p>
会長	<p>事務局いかがですか。</p>
上下水道局長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>A委員がおっしゃった通り、今回水道よりも投資の方がかなり目立っています。今言いました内部留保資金ですが、国の方で上下水道耐震化計画というものを推進しており、下水道事業でも、当然（下水道管の）耐震化及び処理場の耐震化を前倒していかねばならないということで、そういうところを積み上げた影響がまずあります。</p> <p>あと内部留保資金につきましても、先ほどの資料の16ページですが、現状の状態で行きますと、徐々に純利益は確保できないというところがあります。</p> <p>一方で、17ページでは、改定しなくても内部留保資金が増えていくのではないかとありますが、これは投資額が減価償却額より低い状況であるため、こ</p>

A 委員	<p>のような現象になるわけです。これからしっかり耐震化や老朽化（対策）を進めていくと、どうしても資金不足というところが出てきますので、A委員が言われた通り、何を具体的にやっていくかということをしかり市民の皆様にも明示しながらご理解いただくことが重要だと考えています。そのあたりはしっかりと、市民の方にご理解いただけるよう対応していきたいと考えております。</p> <p>特に下水道の場合は、企業債残高が水道と違って現行計画でも減っていく計画になっているので、そこでさらにという話になると、なかなか企業の論理だけでは説明しにくいというふうに思っただけで発言させていただきました。</p>
会長	<p>今の点はいかがですか。</p>
上下水道局長	<p>おっしゃる通り起債の残高が減っていきますと当然その元本の返済額も減ってきますが、逆に水道事業と違いまして、下水道事業の場合は公共事業という側面から一般会計からの繰入金があり、例えば利息の返済（の一部）に対し一般会計から繰り入れの補填があります。元金の償還が減りますと繰入金も減っていくということで、一概に元金が減るから経営が軽くなるわけではなく、優遇されてる部分もだんだん減っていきますので、これ（起債残高が減ること）がプラスの方だけに働く傾向には出ないというところがあります。</p>
A 委員	<p>斯くも難しい話ですので、これを市民の皆様にも伝えるのはなかなか難しいのでかなり工夫がいるなと感じた次第であります。</p>
会長	<p>その指摘は間違いではなくおっしゃる通りで、特に17ページのスライドでも、これだけをばっと思えば確かに、まだまだ（改定の必要はない）と思うかもしれませんが、いろいろ前提があるので、今後どうやって資料を出していくかといったときに、時間のない市民の方にもなるべく簡単にわかりやすく概要を伝えられるものと、割と企業会計その他にも通じていて会計の常識のある人にこの公営事業会計、特に下水道の場合は公共分（雨水）と一般分（汚水）の両方がありますので、その一般分（汚水）についてどういう考えになってるかというのを、少し詳しい比較資料と両方を備えて説明していかないと十二分に納得できないのではないかと思います。こういう形のように一対一で質疑応答ができればいいですけど、できない場合も考えると資料の工夫を少ししなければならない、ということの問題提起であったと思います。</p> <p>今日はなるべくわかりやすいように、事務局に長めに説明をしてもらい、私は十分わかりやすいほうに近づいたと思いますが、今質問を受けたうえで16、17ページと見ると確かにそういう（健全な経営状態のような）感じに見えるかなと感じます。</p> <p>この辺のところは、今後、少なくとも説明の仕方は考えながらやっていかなければ</p>

B 委 員	<p>ればだめだということだと思えます。</p> <p>それでは続きまして、B委員はいかがでしょうか。</p> <p>一般住民としての考えしかありません。</p> <p>非常にこの会計の仕組みが難しいので、私たちは今回地震や老朽化の問題で事故が起きたので、老朽化した部分を定期的にチェックしていただいて、直していただくという、そういう前提で値上がりすることについては、了解が取れると思います。ここ（審議会）では債権者としてどれぐらい（の使用料改定）が妥当かということ（が論点）だと思えます。</p> <p>私は（使用料を）払う立場で、今の生活のレベルでどれぐらいだったらいいかなという感覚しか持ち合わせていませんので、そういう感覚でお話させていただきたいと思えます。</p> <p>（審議会が）始まる前に伺ったところ、ある程度計画的に改修やチェックはされているということで、ただこの後、2回目の（審議会の）ときに（布設されて）30年から40年の部分（経過する下水道管）が大変多くなるというようなことを示していただきました。そういったときに、（資金が）ショートしてしまうことがないようにという前提で、4年ぐらいで見直しながら少しずつ、以前の富山市のように（下水道使用料を）上げていくというスタンスがいいのかと思えます。どうしてこの3つのパターンが出てくるのかというのは、一応書いてありますが、あまり（市民に）大きな影響のないところが、妥当なのかなと思えます。</p> <p>とりわけ上水と下水を分けて考えますと、払うのは一緒ですけど、何かあったときに生活者として深刻な問題が起きるのは（トイレなどが）使えなくなること。上水は例えば給水タンクで水を持ってくることが出来ますけど、下水はしっかりと計画性を持って、（更新を）やっていただく。そのための財源を確保していただくということは大変大事だと思えます。</p> <p>この後、人口も減っていくと考えると、過去のデータから類推するよりも少しは上乘せして考えていかないといけないと考えます。</p> <p>一方で、20m³という平均的な算出（使用量）ですが、そのあとの20m³を超えたら40m³まで料金が少しずつ上がっていきます。この体系は今まで通り（使用料を改定した場合でも）と同じ考え方でいくのですか。</p> <p>（使用量が）多くなったときの使用料体系がこれまでと同じような算出でいくのかというのが質問で、できるだけ（使用料改定幅の）少ない方でなおかつ、少し贅沢ですけども将来4年分ぐらい（資金が）ショートしないような、それぐらいのところで、1回、上げ幅を決めていただきたいというふうに思います。</p>
会 長	<p>はい。多方面にご質問、ご意見ありましたが、事務局、お願いします。</p>
経 営 企 画 課 長	<p>まず使用料についてですが、今回はモデルケースとして現行の使用料体系で、現行の使用料体系の20m³の金額を出した上で、単純に改定率をかけたものです。</p>

B 委 員	<p>今ほどB委員がおっしゃられましたとおり、水量ごとに使用料が違います。その関係につきましては、今回総体としての使用料改定幅が決まった上で、次回、どの水量だったら幾ら上げるかということをお示しする形になるかと思いません。</p>
会 長	<p>はい、わかりました。ありがとうございました。</p>
上 下 水 道 局 長	<p>あといかがでしょう。</p> <p>下水道管の老朽化につきましては、平成22年度から、老朽化が顕著に進むといわれる30年経過したコンクリート管を優先的に調査しております。</p> <p>およそ630kmあるコンクリート管につきましては、今年度中には1順目の調査を完了します。</p> <p>今まで調査したところのうち、劣化が進んでいたところはしっかり計画を立てて、老朽化対策といいますか、更新工事を進めております。</p> <p>調査結果を踏まえると、およそ1割程度が更新対象ということで、当初見込んでいた数字よりも健全度が高い結果になっております。</p> <p>今後は引き続き、塩化ビニル管といひまして、コンクリート管よりも劣化が進んでいないと思われる管の調査にはいります。</p> <p>本市の下水道管は、約2,600kmございます。そのうち、約630kmがコンクリート管で、残りが塩化ビニル管です。(塩化ビニル管の方が)余りにもボリュームが多いため、どのような調査の仕方をするか効率良く、費用を抑えて行えるかということも含めまして、塩ビ管の調査を進めていきたいと考えております。</p> <p>あとは皆さんが気にされる八潮市の大規模な事故ですが、本市も浜黒崎浄化センターの流入口の直径はおよそ2mあります。</p> <p>それを調査した結果、劣化が全く進んでいないわけではありませんが、すぐに老朽化の対策が必要な状態ではありませんでしたので、本市としましては八潮市のようなことは起こらないと思っております。今後も引き続き調査を進めながら、しっかり機能確保していきたいと考えております。</p>
B 委 員	<p>状況によってはパターン2にしないといけないと思ったのですが、パターン2かパターン3のあたりで考えていくしかないのかなと思います。以上です。</p>
会 長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは続きまして、C委員お願いします。</p>
C 委 員	<p>はい。</p> <p>結論を先に申し上げますと、値上がりはやむを得ないと思いますが、結局幅の</p>

	<p>考え方だと思います。どの程度ということになると思います。</p> <p>先ほどから出ています埼玉県の例がありますが、富山市は一体どうなんだろうということが富山市民の一番の関心事だろうと思っております。</p> <p>先ほど会長さんがおっしゃいましたけども、理解していただくために、事務局に長い時間で説明をしていただいたということですが、時間をかけて説明いただければいただくほどわからない。だから、これをどうやって住民に納得させるかという話術といいますか。</p> <p>ただ、垣間見えるのは、タバコがどうだとかキャベツがどうだとかというような、その努力の跡は評価いたしました。</p> <p>市民としては、ライフラインの整備といいますか、安心して日常生活を送ることができるということがとても大事なことであります。</p> <p>30年以上経っている下水道管は全体の4割強で、こういう怖い話も聞きますと、先ほどの埼玉県の例は下水道の使用を控えていただきたいという要請が行政からありまして、大変な暮らしをしておられたと思います。</p> <p>そうならないために、管理者の話では日々の点検ということもおっしゃったわけですが、とにかく難しい（下水道事業の）会計制度をどうやって市民に説明していくかということを考えていただきたいです。</p> <p>先ほどの結論に戻りますが、住民としては、値上がりはやむを得ないと思いますが、できるだけ負担の少ないような考え方で対処していただきたいと思います。以上でございます。</p>
<p>会 長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>事務局から何かコメントありますか。</p> <p>特にないですね。</p> <p>それではD委員お願いします。</p>
<p>D 委 員</p>	<p>ご丁寧な説明ありがとうございます。</p> <p>今回は資料もしっかりしてましたし、説明もわかりやすかったので、質問事項はないです。</p> <p>市民に示すときにどうなのかという視点でいくと、マスコミが事故の影響もあって、不安を煽るような報道も多いような気がするので、今回この値上げによって、私たちの生活がどのくらい守られるのかということお示しいただきたい。</p> <p>先ほども思っていたより（コンクリート管の）健全性が高かったというお話をされてましたけれども、おそらく上下水道の2つ合わせた料金改定のところを見ると、パターン3しか落ち着くところがないのかなと思います。一番上げ幅の低いところであってもこれだけ安全性が保たれるんだよということも併せてお示しいただきたいなと思います。</p> <p>あと、資料の最初にあった大前提である、独立採算制の原則が地方財政法で決められているということや、雨水公費、汚水私費の原則があるということも、少</p>

会 長	<p>し難しいかもしれませんが、教えていただくとそういうものなんだなと思います。以上となります。</p>
経 営 企 画 課 長	<p>はい。事務局いかがでしょうか。</p>
経 営 企 画 課 長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>値上げによってどういうメリットがあるかっていうことは、今後、その使用料改定を行った際に市民の皆様にはわかりやすく周知していかなければならないと考えております。</p> <p>D委員がおっしゃりましたが、独立採算など、なかなかわからない部分もあるかと思えます。今年度実施した上下水道事業のアンケート調査でも、知らない人もいらっしゃるという結果が出ており、そういう原則の部分も市民の皆様には知っていただけるよう、我々が努力をしなければならぬ事柄ではないかと思えます。</p>
会 長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>では続きましてE委員、いかがでしょうか。</p>
E 委 員	<p>(下水道使用料を)支払う側としたら、本当は反対ですけども、能登地震がありまして、今(地震発生前の)点検では大丈夫だったかもしれませんが、地面自体が揺れておりますので、どっかで少し^{たが}箍が外れかかっているようなところもあるかもしれませんから、再度その辺はチェックしていただいて、より一層安心、安全となるよう対応していただきたいと思えます。</p> <p>上げる分については、致し方ない、理解はしたいです。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
会 長	<p>はい。改めて質問がありました。この点をお願いします。</p>
上 下 水 道 局 長	<p>能登半島地震を受けまして、水道はそれほど影響がなかったですが、下水道は液状化の影響等で一部被害が出たということで、国の災害査定を受けましてその^{かんきょ}管渠のやり替えなどが発生しております。</p> <p>今言われた通り、その地震の影響も踏まえまして、本市としましてはカメラ調査までは難しいですが目視点検で状態を把握してる状況であります。</p> <p>日頃の点検等も踏まえまして、しっかり維持管理していく必要があると思えます。点検頻度や点検内容によっては、費用が^{かさ}嵩む可能性は十分考えられますので、そういったことも考慮しながら事業計画に反映していきたいと考えております。</p>
E 委 員	<p>八潮市の話が出ましたが、富山市の汚水を流す幹線も(八潮市と)似たような構造になっているのでしょうか。</p>

<p>上下水道局長</p>	<p>この資料の文書だけ見ていると、私たちはわからないわけです。実際はこういう感じということ、本当は知りたかったのですが、よくわからないので、よろしくお願いします。</p> <p>八潮市の件につきましては直径が4.75m（の下水道管）ということで、かなり大規模です。</p> <p>通常これくらいの規模ですと鉄筋コンクリート管ではなく、一般的に考えられるのはシールド工法と言いまして、トンネルを掘るような工法で、鋼製のセグメント（ブロック状の壁）を組んで、その内側にコンクリートを打っていくようなやり方が一般的です。果たして（八潮市が）そのようなやり方なのかかわからないですが、富山市も浜黒崎浄化センターの近くの大口径の管ではシールド工法を使っております。</p> <p>（シールド工法の下水道管は）通常のコンクリート管とは構造や耐震性などの考え方が違ってきます。</p>
<p>E 委員</p>	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。 それではF委員、お願いします。</p>
<p>F 委員</p>	<p>丁寧なご説明ありがとうございました。</p> <p>前は水道料金の改定率についてということで、今回は下水道使用料。これは同時に上げるということで、これまで、水道料金と下水道使用料を同時に上げたことは、消費増税のときを除いてあったのでしょうか。</p> <p>（料金を）払ってる住民としては、水道と下水が一緒になってお金を取られるという意識を持っている方がどのくらいおられるかわからないですが、改定となると、水道は水道、下水は下水ということで、考えていかなければならない。同時に上げるとなると市民生活に与える影響が、当然、多くなるわけで。水道をあげるから、下水も見直すというのではなく、そういったことをそれぞれ、住民が納得できるような説明が必要になってくるのではないかと思います。</p> <p>それぞれ水道、下水、どうしてあげなければならないのかということ、これまでも説明はいただいているわけですが、水道料金と、下水道使用料を、今、一緒に上げなければならないかというようなことですね。遅らせることができないか。今回は4年間の事業計画に基づき水道も下水も同じような形で試算していますが、その方がわかりやすいのか、どういう課題があるのかかわからないですが、（改定時期を）ずらすことができないのかと、素人だと思ってしまうのではないかと思います。</p> <p>そういったことを説明していただいたうえで、上げ幅をどうするかということになってくるかと思いますが、今回、3つのパターンが示されておりますけど、</p>

<p>会 長</p>	<p>今の経済、物価情勢からするとパターン1、パターン2というのは大変厳しいものになると思います。</p> <p>パターン3の場合、説明資料21ページで、県内市との上下水道料金の比較によれば、これまで富山市が安かったということや改定した場合でも県内市の平均となること、また上昇率も大体22%ぐらいで、他の（品目の）物価上昇率と比較しても低く抑えられているということを説明してもらえれば、住民の方には一定程度理解していただけるのではないかなと思います。</p> <p>前回も私は申し上げましたが、市民生活への急激な影響はできるだけ避けるためにどういう措置があるのかわかりませんが、激変緩和措置というものについて、いつ検討すべきわかりませんが、そういったことも考えていただけると大変ありがたいと思います。</p>
<p>経営企画課長</p>	<p>はい。いかがでしょう、事務局。</p> <p>まず収入の改定時期についてですが、平成20年は上水、下水ともに改定を行っております。</p> <p>過去を見てもみますと、旧富山市では、下水道については数年おきに改定していたと先ほどお伝えしましたが、同じく旧富山市で水道料金も同じように行っていました。</p> <p>古い時期から言いますと、平成4年4月に水道は9.6%、翌年の平成5年に先ほど管理者が申し上げましたように下水道が39.7%、2年置いて平成7年4月に水道が19.38%、翌年の平成8年4月に今度は下水が36.2%です。その次が4年飛びまして、平成12年4月に下水が15.2%、平成13年に水道が15.81%ということで、旧富山市については毎年交互に改定していた状況です。旧町村の部分については資料が手元になくわかりませんが、旧富山市の状況は以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>昔は物価も所得も上がってましたから、今は両方上がらない時代なので、過去の話はそのままダイレクトにはならないかもしれませんが、ほぼ（上水と下水の改定は）連動しており、同時にやることは普通にはあったということでしょうか。</p> <p>ただこの2つを合わせたときにどういう影響があるかということについて、説明の仕方に工夫が必要だということだと思います。</p> <p>おそらくこの審議会としては、すでに耐震化の計画があって、その前倒しが決められていて、これはすでに議論済みです。それを前提に議論するというので、そこは結論ありきでやっているわけです。</p> <p>市民向けに説明するときには、耐震化計画を前倒しすることで八潮市の事故等を念頭に置いても、現行の状況だとこれで十分やっていけるはずなんだという説明がしっかりされないと駄目で、その説明は上水と下水のそれぞれで説明されることが前提になると思います。</p>

		<p>次回の審議会では総括の議論になりますので、そのときにどういう見せ方があり得るのかということを含めて、少し検討していただけたらと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
F	委員	はい。
会	長	それでは、G委員お願いします。
G	委員	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>資料を見ていて、いろいろ悩ましいなと思いながら聞いていましたが、おそらく現実としてパターン3だと思います。</p> <p>足元の4年間の耐震化計画を見据えた投資計画があり、それに不足する(金額を)資産維持費という形ではじかれていて、少なくとも市民の方々には、説明の仕方次第だと思いますけども、納得はしやすいと思います。</p> <p>一方で、令和11年以降の長期的な持続可能な下水道事業経営というのを踏まえたときは、パターン2の長期的な投資実績に基づいた資産維持率になるということだと思いますが、特に下水に関しては足元の財務状況が水道事業より良いということもありますので、過去にこれだけやっているからという説明だと、なかなか説得力を持たないと思います。</p> <p>資産維持率の3%は水道では(算定要領に)明記されてますが、下水ではまだ明記されていないという事情もあると思います。そうすると令和11年度以降に、下水道事業の中でどういう更新投資が出てくるかということを中心に示した上でその後の料金改定を考えていく必要があると思います。</p> <p>私の意見だと、あくまでこの4年間の部分は、パターン3で賄えるけれども、令和11年度以降、足元では大規模投資があまり想定されていませんという話であっても、長期的な目線に立って考えると、令和11年度以降の投資の計画、投資の必要性を踏まえて、また改定を考えていかなければならないと思います。そういったところも含めて、市民や議会に対してしっかりとメッセージを発信する必要がある。これは水道も同じだと思います。</p> <p>改定という意味は、成り行きとしては上がっていく可能性が高いと思いますが、もし経営改善ができれば下がっていく可能性もあります。</p> <p>そういう意味での見直しを視野に入れながら議論をしていく必要があると思います。</p> <p>以上です。</p>
会	長	はい。どうでしょう、事務局。
経	営企画課長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>令和11年度以降の計画、今回の財政シミュレーションよりも先の部分について</p>

	<p>てですが、現在、富山市上下水道局では、第2次の中長期ビジョンで令和8年度までの10年間分を計画しているところです。今後、再来年度までの間に、令和9年度から10年間の中長期ビジョンを策定する予定としており、その中で当然、投資がいくらぐらいになる、借り入れがどれだけになるといった、今回の財政シミュレーションと同じようなものを進めていきます。当然その中では基礎的な収益である料金についても、議論していかなければならないと考えております。</p> <p>国からの通知では3年から5年ごとに見直しをするべきということで、今回富山市は（前回の改定から）16年経ってしまいましたけれども、旧富山市のように数年置きに見直すということは、G委員がおっしゃられたように、上がる可能性は高いですが、見直しによって下がることも将来的にはあるかもしれませんし、据え置きということもあるかもしれない。それはその時の社会情勢や投資の状況を踏まえて議論を進めていきたいと考えております。</p>
会 長	G委員よろしいですか。
G 委 員	はい。
会 長	それでは最後になりました。H委員、お願いします。
H 委 員	<p>下水道の事故の防止は非常に大切なことだと思いますので、値上げも必要になってくると思います。</p> <p>安全ということを強調して市民に理解していただくことが良いと思います。</p> <p>ただ、47%値上げをしてしまいますと、市民も驚くと思いますので、皆さんがおっしゃったパターン3くらいが良いかと思います。</p> <p>G委員がおっしゃったように、比較的短期間にもう一度見直し、そして必要に応じて再度値上げするということになるのかと思います。</p> <p>以上です。</p>
会 長	事務局の方からどうでしょう。
経 営 企 画 課 長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>H委員がおっしゃられたように短期間で見直すことがやはり重要であると思います。</p> <p>ただ、毎年見直すとなると市民や企業の皆様にご迷惑がかかりますので、国の通知にありますように3年から5年程度での見直しになるかと思います。</p> <p>資料25ページの散布図で示しましたが、5年、10年と間隔があくと改定の幅が大きくなるという状況も全国的に見られますので、国が示した期間でしっかりとやっていかなければならないと考えます。</p>

<p>会 長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>これで皆さんから一通りご意見いただきましたが、各委員の意見を踏まえて、改めて皆さんの方から、ご意見ありますか。いかがでしょう。</p> <p>私も今回（資料を）見させていただいて、今回、水道と同じ資料をつけていただいたのですが、19ページの世帯別のモデルケース、特にこれからは高齢化社会になっていくということで、高齢単身世帯も中山間地と中心市街地に分けて作っていただいて、排水量の違い、水道の使用量の違いがどのくらいあるかということを見てみたのですが、排水量も使用量も単身世帯が少ないということで、思ったほど大きな増額にはならなかったのに対して、（影響が）大きいなと感じたのは子育て世帯です。この世帯は働き盛りで経済的には強いとはいえ、昔に比べると所得の伸びはそんなに高いわけではありませんし、物価もジリジリ伸びていく中で、結構な負担であるということを考えますと、料金体系の工夫をしながら、特にたくさん使う世帯、このような世帯に対して一定の配慮があってもいいかと思いました。もちろん単身世帯が高くていいということではないですけども、少しでも配慮があればと感じました。</p> <p>もう1つ私の方から事務局にお伺いするとすれば、今回、改めて出されたアドバイザーの意見を見ても、それから皆さんの意見を見ても、いろいろなことを総合的に考えると、パターン3ぐらいが水道にしても下水道にしても良い線で、仮にパターン2だとすると、よほどの理由といたしますか、内部留保資金が手厚くなるぐらいではなく、現行計画の中でここまでやっていかないと、（事業の経営や安全性などの維持が）難しいという理由がないと（市民は）納得できないのではないかとというのが、ニュアンスはそれぞれありましたが大体の共通の皆さんのご意見じゃないかと思えます。</p> <p>事務局が、激変緩和を除いて考えたとき、理想的にはパターン2の方がいいのか、パターン3で行くのがいいのか、これは技術的に考えると、それは単純に内部留保資金の差なので、そこについて（改定率が低く、市民に）は喜んで受け入れられて協力を得られる額が最適だと考えられるのか。その辺のところ、最終的には次回の議論になりますけど、これの資料をまとめながら、事務局が考えた感想や意見をいただければ、参考になると思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>経営企画課長</p>	<p>我々とする、当然お金はあったほうがいいと考えますが、当然今回その料金体系のあり方を諮問している中で、これにしたいということを我々の方から申し上げるのは難しいところではあります。</p> <p>こちらは経営者側ということで、資金をある程度確保して持続可能な経営をしていくことを考えると当然（改定率は）高いほうがいいという考え方になるころではありますが、申し訳ありませんがこのパターンということは申し上げられません。</p>
<p>上下水道局長</p>	<p>パターン2の考え方は、過去19年間の投資額を資産維持費として考え試算し</p>

<p>会 長</p>	<p>ており、今後は老朽化対策が必要になってきます。ただ（その額は）同程度かと言うと同程度ではないと思いますが、（現時点では今後の投資額の総額を試算できないため）同程度の金額としました。先ほど令和11年度以降の（事業計画の）話もありましたが、将来を見据えた場合にはその程度は内部留保資金として必要になってくるのではないかという考え方のもとでのパターンになります。</p> <p>ですので、これまでに投資した費用は（同程度の設備更新を行った際に）将来的にもかかるだろうという前提の考え方になりますが、これは非現実的（な金額）ではなく（現時点で将来の投資額を想定する）一つの考え方としてご提案した数値です。</p> <p>私がこのパターン2とパターン3を見て思ったのは、パターン2は過去値ですから、料金が上がらなかった16年の間にこれだけの総括原価を確保してやってこれたということは、富山市にとって私は非常に財産というかラッキーだったこともあるかもしれませんが、大きく物価が上がらないで済んだ時代に必要な浄水場の建替を行い、周辺市町村との合併も行い、今後、物価がジリジリと上がってくるこの時代に、改めてこれらを既存の財産で臨めるというのは、市が努力した（結果）としては最大限、よかったことではないかと思います。</p> <p>次回に向けてのことになりますが、頻繁に議論をするとすると、今回の議論もそうなのですが、耐震化計画が決まっていると、議論はどのぐらい物価が上がったとか、所得が上がったからどうなったかという話になっていて、これに対して今、幸か不幸か上水道や下水道のあり方について、住民の関心、国民の関心が向いてきていますので、どのような維持管理体制をやってるのかどうやったら水質が確保できるのかってところに非常に関心が向いている時代なので、何年かに1度議論していくときに、今の耐震化計画がこれで十分やってこれているのかどうなのかということの議論を射程に入れながら、その料金を考えるということをしていただくと、ますます住民の皆さんの関心や委員の皆さんの関心もつながりやすいと思いました。</p> <p>今回はこれらの点も踏まえて、部分的には質疑応答の中で事務局の方から、現行の計画の前倒し分で、今の工事の感覚からいくと当面のところはこれでいけるんだというご回答をいただいています。これをもう少しわかりやすく一般向けに示すのと、もう少し関係者向け、特に企業人向けにわかりやすく示せるものを準備しながら、改めてこの上下水道料金どうしたらいいかというのを、（この後の事務局との）打ち合わせで皆さんと協議できるような形にもっていければいいなと思います。</p> <p>今日の議論、皆さんからいただいたご意見は以上の通りでしたが、他にいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>ご意見ご質問がないようですので、以上で本日の議論は終了とさせていただきます。</p> <p>それでは議事進行を事務局にお返しします。</p>
------------	---

事務局	<p>会長並びに委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>これもちまして、第4回富山市上水道事業経営審議会を終了いたします。</p> <p>本日の議事録については、後日、内容を会長にご確認いただきまして、ホームページ掲載する予定としておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>また、次回の審議会は3月中下旬ごろの開催を予定しております。</p> <p>改めてご案内させていただきます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
-----	---